

発行者 大妻同窓会埼玉  
代表 市原玲子

発行日 平成24年 5月25日  
印刷所 ㈲寄居孔版社  
大里郡寄居町寄居1051

# 大妻同窓会

# 埼玉だより



## 桜の花

大妻同窓会埼玉代表  
市原玲子

台風並みの春の嵐に、折角の花見時を奪われてしまいそうです。会員の皆様は、何方と桜の花を御覧になられたでしょうか。

東日本大震災から一年、震災で家族や友人を失った人たちが、思い出の写真や品物に向かい語りかけたメッセージ「戻らぬあなへ」を目にして、癒えることのない悲しみが、新聞の紙面から止めどもなく溢れ出て...胸が締め付けられる思いでした。

平成二十年の大妻学院創立百周年記念学術講演会で「日本文化と



## ご挨拶

一般財団法人大妻コタカ記念会会長  
井上小百合

今年も大妻同窓会埼玉の総会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

昨年の総会では、東日本大震災の被害をお身に受けられた方々のお話や、健康で元気に生活する術など、いろいろなお話を皆様から伺い心に残る貴重な時間になりました。

あの未曾有の大災害によって我々は、生活意識の変化や、価値観の転換、幸福感など、考えさせられる場面にはしばしば出会ったよう

本年の総会は、沢山の

著書をお持ちになられる博學多識の静岡理工科大学教授・志村史夫先生をお招きして、九十分の講演をお願い致しました。

先生はNHKの「アーカイブス」や民放番組のテレビなどに多数出演され、物質科学・自然哲学を分かり易くお話をされています。昨年、お訪ねになられたブータンでのお話

そして愛され続ける寅さんの世界のお話。会員の皆様と共に、思い出深い一日となることを願ひ、ご参加を心待ちしております。

桜への思いは平和への思いです。

~~~~~

に思います。

そんな中、昨秋に来日したブータン国王のおっしゃった言葉「皆さんの中に人格という竜がいます。年を取って経験を積むほど竜は大きく強くなります」は、物質の豊かさよりも心の豊かさを大切にす

る国の国王の言葉としてとても印象に残りました。

私自身、この一年、新しい歩みを始めた大妻コタカ記念会にあり、大妻コタカ記念会館の竣工や新しい公益目的事業の展開など、数多

くの経験を積み重ねてきました。それらは多数の方々の協力、人の繋がり「絆」の存在による経験と、有難く思っております。

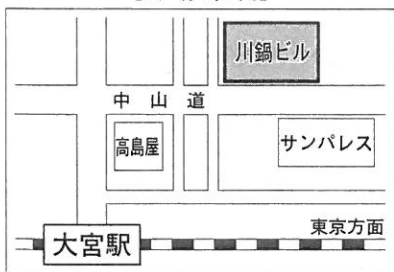
大妻コタカ先生は「幸福は感謝にあり」という言葉を残されております。

感謝の心を持って同窓生同士の「絆」を大切に、そして豊かな経験によって自らの幸福度を高めていきたいものです。

会員の皆様のさらなるご健勝を祈り、大妻同窓会埼玉の発展をご祈念申し上げます。

## 平成24年度 大妻同窓会埼玉の総会ご案内

### 【会場案内】



会場へのアクセス  
・JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線・埼京線  
「大宮駅」東口下車・徒歩5分

日時 平成二十四年七月八日(日)

受付 10時~10時30分  
開会 10時30分

会場 「川鍋ビル」8F大会議室

〒330-0845さいたま市大宮区仲町

TEL 〇四八-六四一-五五二九

(大宮駅東口下車徒歩五分)

講演会 「21紀の幸福論

―寅さんとブータンの世界―

講師 志村史夫様

会費 六,〇〇〇円

〔取り消しの場合は一週間前までに。その後は全額ご負担いただきます。〕

申込方法 同封のはがきにてお申し込み下さい。

申込期限 六月末日

◎書き損じハガキ、古切手、ペルマーク集めています。総会の時にお持ち下さい。



平成23年度 大妻同窓会埼玉総会 H23. 7. 3 於 川鍋ビル

### 総会に参加して

昭45卒 飯野 勢津子

七月三日、二十三年度埼玉総会が、大宮「川鍋ビル」にて開催されました。四十一回となる今日に、大妻コタカ記念会の井上会長が出席されました。総会も順調に進行し、会則も決定しました。

「命について」大震災に想うが配られて、校歌を合唱しつつ両親の事や、家族の事を思い出し涙して、記念撮影となり楽しいお昼食

をとりながらの座談会となりました。向かい合いの席で近況報告をしました。大妻の精神、同窓生としての誇りさえ感じられました。とても私にとっては充実して楽しい一日でした。ありがとうございました。

最後に健康体操が皆様の気持ちを柔らかくしてくれて皆でやってみました。

### 「お一人おひとりの思い」

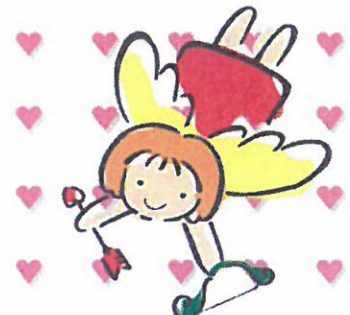
昭48卒 中山 あや子

平成二十三年度「大妻同窓会埼玉」総会は七月三日(日)、「川鍋ビル」大会議室にて行われ、事業報告、会計報告等の議事は滞りなく進行し承認され、第一部は無事終了しました。

第二部は記念写真撮影後、懇親会に入りました。従来は、講演やミニコンサート等の予定ですが、今年は三月十一日東日本大震災、原発事故と相次ぐ被害にみまわれ多くの方々が辛い思いをしており

ます。そこで今回は生きる原点に戻り「自分を生きて」をテーマにお一人おひとりが自分を語りました。皆様の一言一言の重さとお力を頂戴いたしました。

連続ドラマ「おひさま」の主人公陽子と相重なる時代を生きぬかれた方。その時私は、戦後の復興を同時代に生きた多くの方々をはじめ、大妻で共にされた大先輩方のお力があつたからこそ、今があると痛感いたしました。また、ご



自身が大病を患い克服されたことやご家族の介護や看病など、苦杯をなめて一家を支えた方。さらにご高齢?にもかかわらずボランティア活動をされ、生き生きとされているお姿に圧倒されました。

お話を伺い、大妻で学んだ大妻精神のすばらしさ、生きる力を直に学ぶことができました。

皆様のお話は、私の稚拙さを払拭し忸怩たる思いにさせ、もう一度人のために役立つ生き方を教示するものでした。来年も多くの会員の皆様とお会いし、何気ない日常の情報交換ができますことと同時に、大妻同窓会のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

# 講師紹介

演題 「21世紀の幸福論 一寅さんとブータンの世界一」

期日 7月8日(日)

場所 川鍋ビル 8階



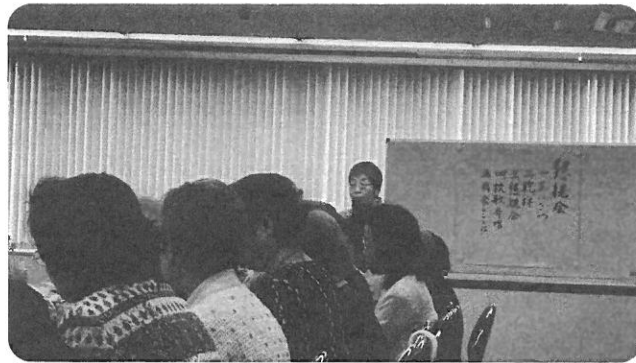
\* 講師プロフィール \*

**志村史夫** (しむら ふみお)

1948年東京・駒込生まれ。

名古屋大学工学博士(応用物理)。応用物理学会フェロー。

日本電気中央研究所(1974-83)、モンサント・セントルイス研究所(1983-87)、ノースカロライナ州立大学(1987-93)を経て、1993年より静岡理工科大学教授、ノースカロライナ州立大学併任教授。日本とアメリカで長らく半導体結晶の研究に従事。現在は自然哲学、古代技術、動植物の智慧などに興味を拡げている。著書は物理学分野の専門書のほかに一般向け書多数。



平成23年度 大妻同窓会埼玉 決算報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日 平成24年7月8日

平成24年度 大妻同窓会埼玉 予算(案)

平成24年4月1日～平成25年3月31日 平成24年7月8日

平成23年度 大妻同窓会埼玉 事業報告

平成24年7月8日

| 年月日       | 内 容                                                                                  | 場 所          |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 23. 4. 15 | 役員会<br>編集委員会<br>総会準備<br>大妻同窓会埼玉会報「埼玉だより」37号編集                                        | 川鍋ビル         |
| 4. 19     | 編集委員会<br>埼玉だより37号(印刷所)入稿                                                             | 寄 居          |
| 5. 6      | 役員会<br>編集委員会<br>総会準備<br>埼玉だより37号校正                                                   | 川鍋ビル         |
| 5. 20     | 役員会<br>埼玉だより37号発送                                                                    | 川鍋ビル         |
| 6. 12     | 本部総会<br>「青葉のつどい」総会<br>大妻地方同窓会代表者会議                                                   | アルカディア市ヶ谷    |
| 6. 24     | 役員会<br>総会準備・役割分担                                                                     | 川鍋ビル         |
| 7. 3      | 大妻同窓会<br>埼玉総会<br>議事・平成22年度事業報告、決算報告<br>・平成22年度監査報告<br>・平成23年度事業計画(案)、予算(案)審議<br>・その他 | 川鍋ビル         |
|           | 食事会<br>懇談会<br>「自分を生きて」をテーマに<br>集い、語り合う                                               |              |
| 7. 8      | 岩手、宮城、福島の同窓会へ義援金を送る                                                                  |              |
| 10. 7     | 役員会<br>今後の事業について                                                                     | 川鍋ビル         |
| 12. 16    | 役員会<br>今年度の反省及び次年度の計画等<br>納会                                                         | 大 宮<br>木 曽 路 |
| 24. 1. 20 | 役員会<br>名簿整理                                                                          | 川鍋ビル         |
| 2. 24     | 役員会<br>編集委員会<br>大妻同窓会埼玉の総会について<br>埼玉だより38号の編集                                        | 川鍋ビル         |
| 3. 16     | 役員会<br>編集委員会<br>大妻同窓会埼玉の総会について<br>埼玉だより38号の編集                                        | 川鍋ビル         |
| 3. 31     | 会計監査                                                                                 | 川鍋ビル         |

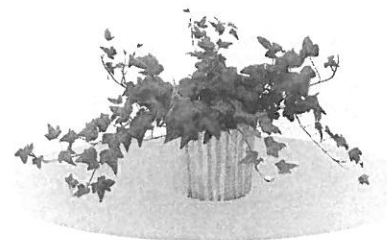
平成24年度 大妻同窓会埼玉 事業計画(案)

平成24年7月8日

1. 大妻同窓会埼玉総会、講演会  
7月8日(日) 川鍋ビル8階大会議室  
講 師 志村 史夫 様
2. 講 習 会 10月5日(金)10時～ 川鍋ビル8階大会議室  
講 師 横田 素子 様
3. 福 祉 活 動 使用済み切手、書き損じハガキ(未使用可)  
ヘルマーク、プリペイドカード集め
4. 本部事業への参加 「青葉の集い」、「紅葉の集い」、講演会、講習会、生涯学習講習会、研究会(文学、美術)他
5. 大妻同窓会埼玉だより39号発行、定例会
6. その他

大妻同窓会埼玉会則は、平成23年7月3日総会で承認され、同日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

(大妻同窓会埼玉会則 - 別紙参照)



あいたくて

だれかに あいたくて

なにかに あいたくて

生まれてきたー

そんな気がするのだけれど

それが だれなのか なになのか

あえるのは いつなのかー

おつかいの とちゅうで

迷ってしまった子どもみたい

とほうに くれている

それでも 手のなかに

みえないことづけを

にぎりしめているような気がするから

それを手わたさなくちゃ

だから

あいたくて

作詞者 工藤直子  
 台湾生まれ。清新なイメージとかわいらしくユーモアあふれる作風で注目される。自然や子供を愛し、心温まる作品が多い。

### 役員紹介

- 代表 市原 玲子
- 副代表 小河原芳枝
- 副代表 鈴木 悦子 (蓮田)
- 副代表 村上 悦子
- 会計 竹内久美子
- 会計 中山あや子
- 書記 矢野 優子
- 文化 栗田寿美子
- 編集 荻島 明美
- 編集 鈴木 悦子 (川口)
- 監査 沖 幸子
- 監査 中谷 寿子
- 顧問 帯川 千



### 新役員紹介

はじめまして  
 皆様よろしく申し上げます  
 会計 中山 あや子

東日本大震災から一年。被災地の皆様の復旧・復興への強い願いが力となり、徐々に戻りつつあるように思います。元気がでてきます。最近では「孤独死」ということばを耳にするようになり、人と人が、家族が、笑顔で生活できることの幸せを痛感しております。

さて、この度「大妻同窓会埼玉」の「会計」を担当させていただきました。事になりました。不慣れで不安もありますが、諸先輩方が築き上げた「埼玉」の伝統を守りながら、未来に発信できる「埼玉」に、微力ではありますがお役に立てるよう、懸命に努力して参りたいと存じます。大妻同窓会の益々のご発展の為に、埼玉会員の皆様のパワーを発揮しましょう。どうぞ宜しくお願いの程お願い申し上げます。

### 編・集・後・記

大妻同窓会埼玉だよりとなつて二号を発行することができ、ほつとしております。

今年も大妻同窓会埼玉は、被災地を応援していきます。

昨年に続き、今年もたくさんの方の皆さんと、お会いできることを嬉しく思います。多数のご出席を、心からお待ちしております。